

# Annual Report



2025

# CONTENTS

## 01 Our Mission

## 02 14期の主なトピック

## 03 数字で見るPolaris

## 04 沿革

## 05 SNSリンク集

### 14期の主なトピックの内容

- Loco-Working
- 『くらすとはたらく』
- 事業伴走サービス
- 注目事業Topics①
- 注目事業Topics②
- 注目事業Topics③
- 地域イノベーション
- 地域イノベーション
- 学び事業 | 自由七科
- PolarisのHR
- 情報システムチーム
- ディレクター研修

調布

練馬 (石神井)

※ Polarisの14期は、2024年8月1日～2025年7月31日です。

※ 掲載情報は発行時点のものです。

※ 掲載されているQRコード・URLをクリックするとリンク先に飛びます。

# OUR MISSION

はじめにわたしたち Polarisのミッションを紹介します。

Our Mission

14期の主な  
トピック

数字で見る  
Polaris

沿革

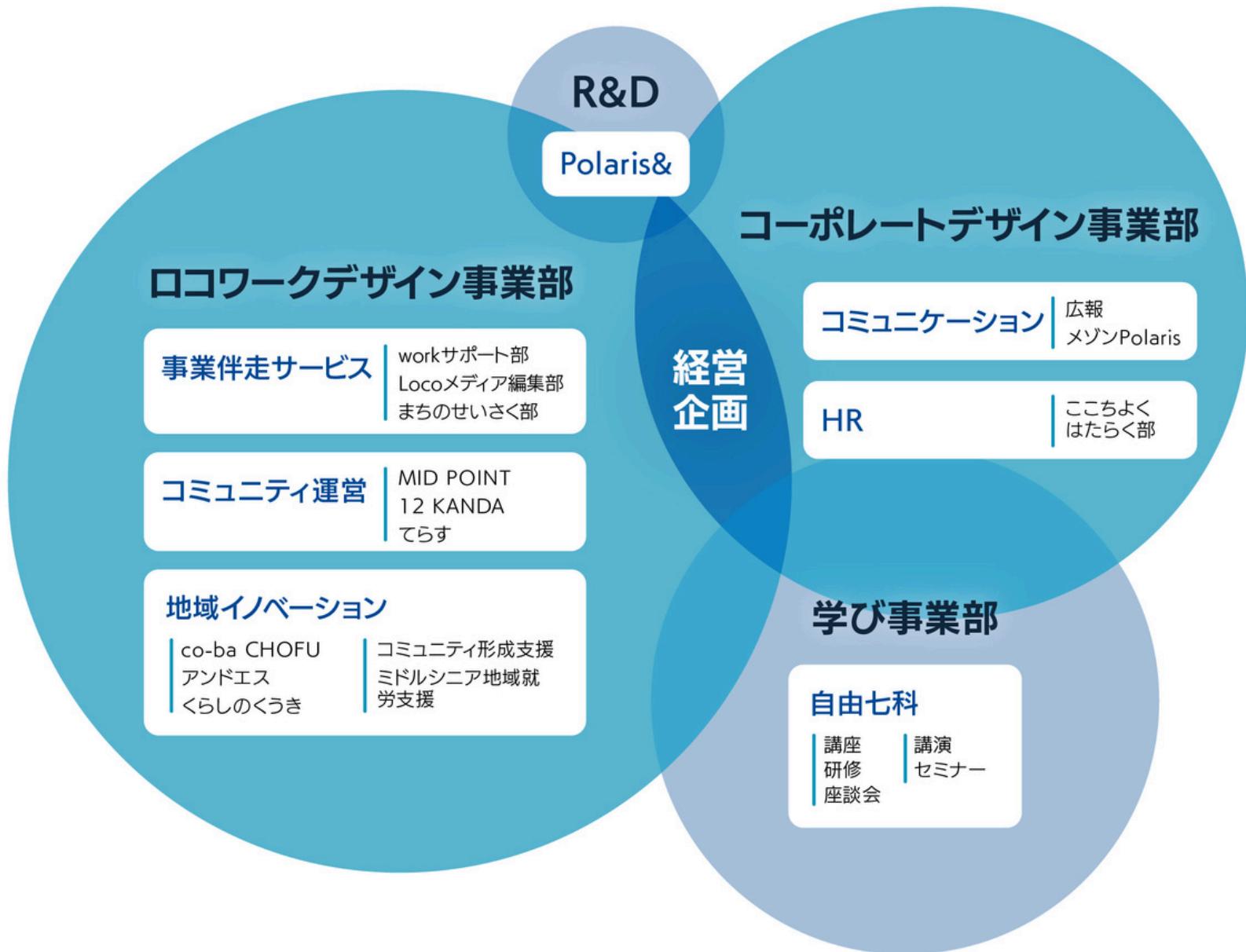
SNSリンク集

## 社会の文脈を変え

## 「未来におけるあたりまえのはたらきかた」をつくる

Polarisは、既存の働き方の仕組みに合わせてはたらくのではなく、一人一人がライフステージに合わせ、「心地よく暮らし、心地よくはたらく」ための仕組みづくりに取り組みます。

地域の中で多様なはたらきかたを実現することで、いつでもどこにいても、何をしていても、その人らしくいられる社会を実現します。



# 14期の 主なトピック

(2024.8~2025.7)

各事業部の14期の主なトピックを紹介します。

Our Mission

14期の主な  
トピック

数字で見る  
Polaris

沿革

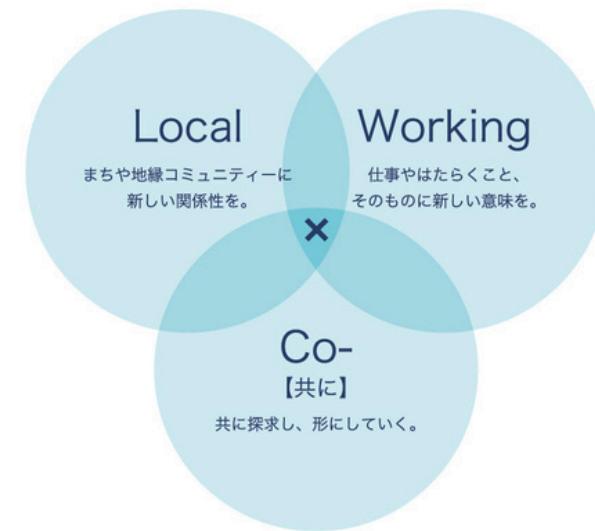
SNSリンク集

# Local × Co × Workingが拓く未来のはたらき方を再定義

## Loco-Working (ロコワーキング)

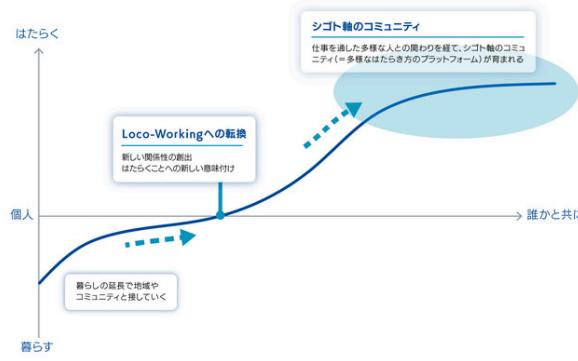
Loco-Working (ロコワーキング) とは、創業時より事業の核として掲げるコンセプトであり、「未来におけるあたりまえのはたらきかた」を目指すものです。

「Local (地域・コミュニティ)」と「Co (誰かと共に)」、「Working (はらくこと)」を掛け合わせ、仕事を通して地域に新しい関係性を生み出し、はらくことそのものに新しい意味を創造するアプローチします。

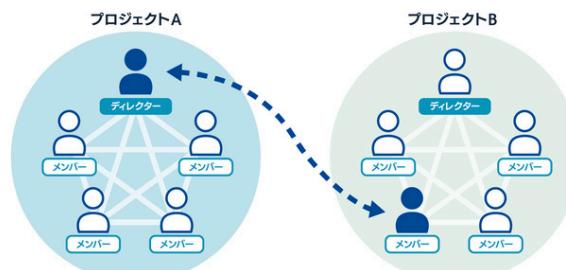


Loco-Workingの実現において、Polarisでは以下の要素を重視しています。

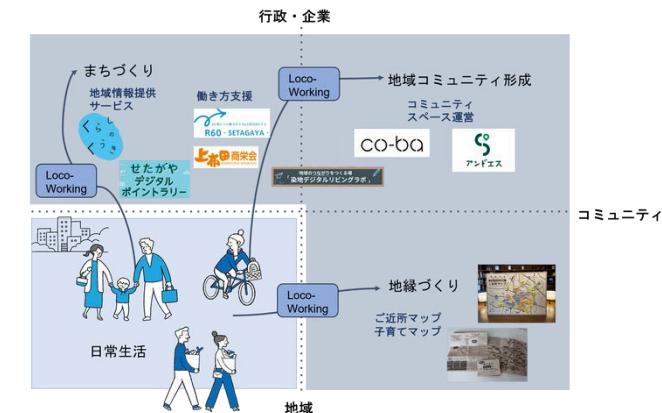
### シゴト軸のコミュニティ醸成



### フラットな関係性



### 個人と社会の新しい関わり



## フリーペーパー『くらすとはたらく』創刊

### Loco-workingのコンセプトを体現する地域メディアを立ち上げ

2025年4月に「自分らしい暮らし方、働き方に、この『まち』で出会う。」をコンセプトとするフリーペーパー・Webメディア『くらすとはたらく』を創刊しました。

#### 1. 概要

仕事を通して地域コミュニティに新しい関係性を築き、はたらくことの価値を再定義するという、Polarisの核となるコンセプトを軸に、地域に愛着を持ち、未来につなげようとする人や取り組みを紹介。

#### 2. 創刊号の特徴

創刊号では、Polarisの本拠地である「調布」を特集。

共に「調布交流会」を開催する唐品知浩さんとの対談を通じ、「まち」との関わり方について深掘りしたほか、調布で自分らしく暮らすはたらく人々のストーリーをインタビュー形式で紹介。

＼ WebメディアとしてHPにも掲載中 ／



## 事務系アウトソース事業を、3部門からなる「事業伴走サービス」としてリニューアル

2012年に「セタガヤ庶務部」、2021年に「CoHana」として運営していた事務系アウトソース業務を「事業伴走サービス」にリニューアル。

「セタガヤ庶務部」では、子育てなどで働きにくい環境にいる人たちが、少しずつでも社会参加できる仕事の仕組みをつくってきました。

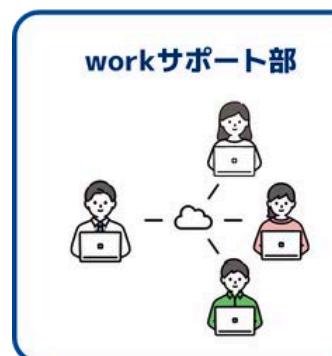
「CoHana」ではクライアントの想いやストーリーに寄り添ったサポートを大事にした、伴走の仕組みを育んできました。

そして2025年、「事業伴走サービス」では、業務整理・プロセス構築・運用まで一貫した「仕事が回る仕組み」を、ご依頼くださる方々と共に育み続けることを掲げています。

こうして、Polarisの事務系アウトソース事業は、新たなステージを目指していきます。

### 事業伴走サービスの3つの部門

事業伴走サービスでは、3つの部門の得意を生かし、会社・団体の描く未来をサポートします。



#### workサポート部

workサポート部は、日常的に発生する定型化された業務をお引き受けし、会社・団体の皆様が、優先したい仕事に集中できる環境を生み出しています。



#### Locoメディア編集部

Locoメディア編集部では、広報や情報発信メディアの企画・制作・運用をサポート。伝えたいメッセージに寄り添った、メディア運用の伴走パートナーを目指します。



#### まちのせいさく部

まちのせいさく部は、パンフレット、ウェブサイト、動画、オンライン配信など事業に必要なクリエイティブを制作し、事業展開に貢献します。

### 事業伴走サービスに相談する



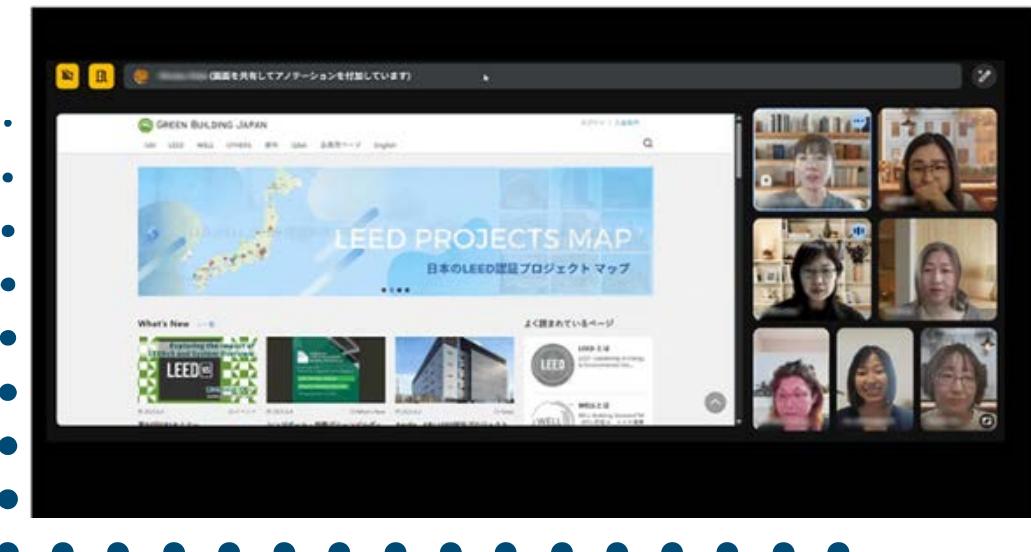
## 徹底した「見える化」とチーム運用で実現した事務局業務のDX化

事業部門：事業伴走サービス workサポート

受託期間：2023年7月～現在

クライアント：一般社団法人グリーンビルディングジャパン

概要：会員数の増加に伴い、事務局業務の属人化と持続可能な運営体制の構築が課題となつた事務局業務。業務設計とIT活用を徹底することで、業務のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進。



＼ こうして解決！／

**5名体制の専門チーム（事務、ウェブ・SNS担当）で  
業務全般をオンラインサポート！**

●ITツールを活用した情報一元化（Kintone導入）：

- ・複雑化していた会員情報、会費管理、問い合わせ管理をサイボウズ社の「Kintone（キントーン）」に移行。業務ヒアリングに基づきデータベースを構築し、情報の一元化と検索性を向上。
- ・メール対応において、テンプレートを整備しチーム全体の対応品質とスピードを均質化。

●徹底した「見える化」と共有知化：

- ・定例ミーティングに加え、丁寧なテキストコミュニケーションを徹底。
- ・Polarisのチームメイキングの基本である「こころえ」に沿って、情報は個人の頭の中に留めず、チームの共有知としていきました。

## オープンから5年目、会員数4000人を超える、地域のコミュニティスペースへ

事業部門：コミュニティ運営

受託期間：2021年8月～現在

クライアント：京葉瓦斯株式会社

概要：千葉県市川市（最寄：本八幡駅）にて、「こどもと、おとなど、まちを照らす」をコンセプトに、様々な人たちが集い、地域の交流の場として運営。

■会員数 大人：約3,700名  
こども：約520名

※2025年10月末時点

■利用実績 2024年 年間来場者数25,000人



## 活用の様子

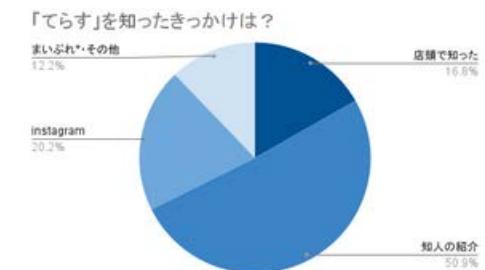
平日の昼間は赤ちゃん連れや、保育園帰りのお母さん達の団欒の場所。午後は小中学生の居場所となっている。また、休日はワークショップや料理教室、マルシェ等が開催され、人びとの活動・交流場所として多くの方が活用。

年間を通じて、学び、遊び、交流と、様々な目的で利用され、地域で暮らす人びとの「サードプレイス」として定着。

ハロウィンやクリスマス等、季節のイベントに加え、卒園・卒業等、子ども達の成長にあわせて生じる家族のイベント会場としても利用されている。

## 来場者アンケート

会員登録時に実施するアンケートからは、来場のきっかけが「知人の紹介」が半数を超えて、口コミを通じて広がっていることを確認。



## スタッフの心がけ



利用者一人ひとりに意識を向け、観察する

子どもたちが安全に過ごせるよう見守る

常連の方々の顔と名前を覚える

乳幼児の成長に気づき、  
育児に奮闘されている保護者の方々へお声かけ



## シェアオフィスの「居場所を育てる人」=Polarisのコミュニティマネージャー

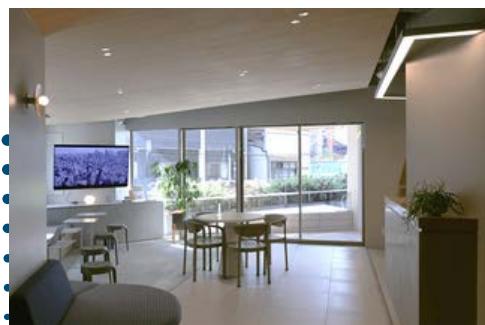
事業部門：コミュニティ運営

受託期間：2024年2月～現在

クライアント：株式会社リビタ

概要：「職」と「食」が「暮らし」を自由にする、をコンセプトにするシェアオフィス12 KANDA。その中で利用者の方の日常をサポートし、12 KANDAに集まる人のコミュニケーションを育んでいます。

また、複数拠点にまたがる12シリーズのシェアオフィスの様子を、Instagramで発信するチームも参加。株式会社リビタ様の描くシェアオフィスを共につくっています。



### Polarisのコミュニティづくりとは

12 KANDAのコミュニティマネージャーによると、その仕事は、単なる場の管理者ではなく、「居場所を育てる人」。利用者の方が仕事に集中したり、心の底からリラックスできたりするような、快適さと安心感を提供しています。

### 「心地よい」と感じてもらうために

大事にしているのは、快適な環境の維持、温かい関係性の構築、交流機会の創出。

挨拶や「ちょっとした会話」を大切にし、入居者の方が困ったときや話したいときに、気軽に声をかけやすい温かい雰囲気づくりを意識しています。職場であっても、コミュニティマネージャーが「人の手による温もり」を添えることで、リラックスし、心地よい居場所づくりにつなげています。

### Polarisらしい「心地よいはたらき方」

Polarisでは、上下関係のないフラットな組織文化のもと、チームで密に連携を取りながら働いています。Polarisが大切にする「心地よくはたらく」を、この現場で実践することで、その温かさがコミュニティにも広がっています。

## 調布から地域イノベーション！ コワーキングスペース×地域イノベーション拠点 co-ba CHOBU

事業部門：地域イノベーション

運営期間：2016年11月～現在

※事業譲渡を経て自主事業

※2021年3月調布にてリニューアル

概要：地域におけるゆるやかな連携構築を目指し、多様な取り組みを実施しています。



### 会員数 過去最高人数を更新

2025年7月末時点でコワーキングスペース会員数59名。会社員のテレワーク利用や、資格取得に向けた学習の場など、利用目的は一層多様化しています。

### スナックPolaris

月1回の頻度で開催している会議室を活用した交流イベントです（2023年10月開始）。地域の方やco-ba会員の方の参加が増え、ママ・マスターとしてカウンターに立ちたいという方の順番待ちも発生。「地域と繋がる場」として成長しています。

### 調布交流会

「顔見知りを増やそう」を合言葉に約2か月に1回の頻度で、合同会社パッチワークスと共に開催している地域交流会。「調布狛江交流会」や「調布三鷹交流会」など、周辺地域を巻き込んだ開催が増加し、行政の境界を超えて地域をつなぐ活動を展開しています。

## 家でもなく、職場でもなく、でも社会とつながる「私の暮らしの続きの場」アンドエス

事業部門：地域イノベーション

運営期間：2024年1月～現在

※自主事業

概要：コワーキング・レンタルスペース・シェア型書店など  
地域のコミュニティの場として運営しています。



### さまざまなコラボイベント

「俳句と夏酒の宴」「vinyl night」（レコードイベント）など、地域の方々とのコラボイベントを定期的に開催。リピート参加も多く、アンドエスの人気イベントとなっています。

### 本の交換所『旅する本棚』

読まれなくなった本も、他の誰かにとって必要な本かもしれません。交換する本に一言コメントを添えていただき、お持ちいただいた冊数分を『旅する本棚』の蔵書と交換いたします。本を通じた交流の輪が広がっています。

### 練馬区100人力イギ（会場提供）

全国で約200ヶ所近くで開催されている「100人力イギ」は、街で暮らし、街で働く“100人”を起点に、人と人をゆるやかにつなぐコミュニティ活動です。アンドエススタッフから、練馬・石神井地域で100人力イギを実施したいという声があがり、アンドエススタッフ、マンション住民、地域団体で活動する大学生などがチームを結成し、「練馬区100人力イギ」を立ち上げることとなりました。アンドエスは会場提供で協力しています。

## 「自由七科」はソーシャルリカレントとして次のステージへ

事業部門：学び事業

運営期間：2021年7月～現在

Polarisは、ミッションである「未来におけるあたりまえのはたらき方」を探求することを「学び（ソーシャルリカレント）事業 | 自由七科」とし、様々な学びの機会をつくりっています。

2025年以降、「学び」を探求するコミュニティとして、多様な人が共に心地よく暮らしあらためのリカレント教育を設計し、自分らしいライフビジョン実現のためのプラットフォームを目指します。



### 14期前半：スキルアップ系の講座に注力

- ・【まちゼミ】スキルと経験の棚卸しワークショップ
- ・【チームではたらく仕事術！vol.1】Googleドキュメント活用術スマートチップ編
- ・初心者でも簡単！Canva使いこなし術～チラシ制作編～
- ・自分らしい暮らし方、働き方を見つけよう～「くらすとはたらく」創刊記念・スペシャルランタンナイト～
- ・デザインを学んでスキルアップ！Canvaチラシ制作講座（中級編）
- ・首・肩・腰！その疲れはどこからくる？姿勢のクセを知って不調改善！

### 14期後半：ソーシャルリカレント事業としての再定義と新規事業の種まき

「このままでいいのだろうか？」と、悩み、足を止めたくなるときに「学び直す機会・場をつくりたい！」と考え、自由七科を「ソーシャルリカレント事業」と再定義。

- ・「誰かと共に自由に生きる」ため、以下の3要素を整理
- ・自分の人生を主体的に生きるためのヒントを得る
- ・他者を尊重し、共に生きることの大切さに気づく
- ・心地よさのあり方に気づく

次なる、地域の大人のやりがいの場「Loco-workingセンター」創設を目指します。

## 業務委託集団だけれども、HR部門を立ち上げました

事業部門：ここちよくはたらく部（通称:ここはた）

運営期間：2023年8月～現在

Polarisでは、役員2名、社員1名に加え、約200名が業務委託契約に基づき業務に従事しています。

業務委託契約は、特定の業務遂行のために締結されるものであり、原則として人事的な管理はなされないものです。

しかしながら、Polarisは2023年8月に、組織のHR部門として「ここちよくはたらく部」（通称「ここはた」）を設立し、より「心地よくはたらく」ための組織環境づくりを担うチームを始動。

2025年は同部門の第3期にあたり、各事業部のオペレーションに精通したメンバーでチームを編成し、業務委託募集選考の自社内アウトソースを開始いたしました。

### 業務委託募集選考フローを「ここはた（ここちよくはたらく部）」へ

#### アウトソースして何が変わった？

改善項目	Before	After
担当業務	各業務の担当者が募集企画～説明会～面談～契約まで担当。	業務担当者が募集企画をした後は、 <b>ここはた</b> が求人募集・説明会受付～エントリ～選考結果連絡～契約まで進捗管理。
タスク	新規案件を担当する頻度が少ないで、募集が必要になると進め方がわからず、大変。	募集選考フローを可視化し、業務担当者の対応内容を明確化。工程ごとに対応すべきタスクが明確になった。
負荷	新規立ち上げ時はタスクが多い中で、募集選考の進捗管理まで対応すると業務負荷が大きい。	進捗管理の事務作業がなくなったため、担当者は説明会・面談のように、直接業務内容を伝える場に集中できるようになった。
ヘルプ	募集選考で困ったときに誰に聞いたらいいかわからない。	募集選考フローは「 <b>ここはた</b> に相談」が浸透してきた。

## 実は、結構DXしています。セキュリティポリシーもあります。

事業部門：コーポレートデザイン事業部

運営期間：2023年11月～現在

2024年に春には、組織の体制変更と並行してシステムのリプレイスを実施。

2025年はセキュリティーポリシー、セキュリティーハンドブックを策定し、契約メンバー全員へ展開。

個人事業主を主体とするPolarisだからこそ、情報管理を徹底し、安心して任せいただける業務環境づくりに注力しています。

## PolarisのDX実績一覧

	Before	After
<b>基幹システム</b>	サイボウズ社のkintoneで顧客管理・契約者管理・案件管理を実施	従来の基幹業務管理に加え、全メンバーとの稼働実績管理・報酬管理をkintoneに集約
<b>オンラインコミュニケーション</b>	Facebookでコミュニケーション	GoogleChatでコミュニケーション (GoogleWorkSpaceへの移行に伴う) ※運営以外のメンバーは個人Gmailを登録
<b>ドキュメント管理</b>	個人のgoogleアカウントで権限付与を管理	GoogleWorkSpaceに移行し、運営メンバーには法人アカウントを付与。アクセス権限のルールを見直し
<b>セキュリティルール</b>	業務ごとにセキュリティに関する留意点をお伝え	Polaris共通のセキュリティーポリシー、セキュリティーハンドブックを策定。全メンバーへ展開、リテラシーの向上を図る

## 組織力強化！ Polarisディレクター合宿の実施報告

事業部門：コーポレートデザイン事業部

準備期間：2025年3月～

実施日：2025年6月7・8日

会場：タカオネ（京王線・高尾山口）

Polarisでは、次期に向けた事業推進と組織の一体感を強化するため、共同代表・ディレクターの総勢19名が参加する合宿を実施。合宿チームをつくり、担当者がプログラムを検討していきました。



### 前進力を高める全社オフサイトミーティングのねらい

前期（第13期）の総括と振り返り、次期（第14期）の中長期的な事業展望の共有。現行業務における課題の洗い出しと、それに対するアイデア検討も実施。日常の業務では得られない他愛もない雑談やチームビルディングも一つの目的です。

### 未来を共に創る組織へ

約2ヶ月間の準備期間も含め、参加者全員が主体的にPolarisの未来について考え、自身のはたらき方や目標を組織の方向性と結びつける貴重な場となりました。「Polarisという船を利用して、あなたは何をしたいですか？」という問いに、自身のプランや秘めていた思いをシェア。グループ内で意見交換したのち、全体発表しました。

# 数字で見る Polaris

Our Mission

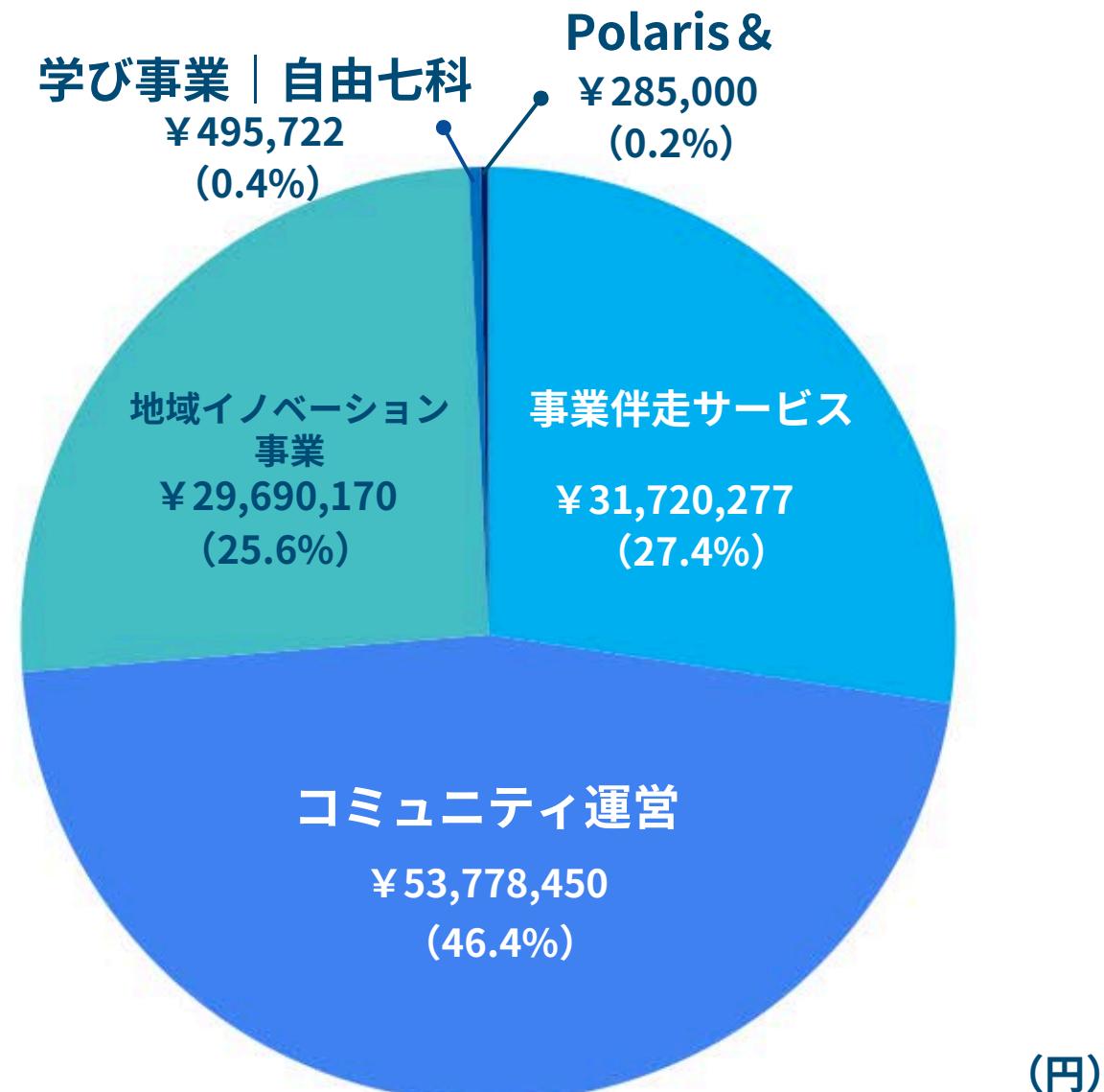
14期の主な  
トピック

数字で見る  
Polaris

沿革

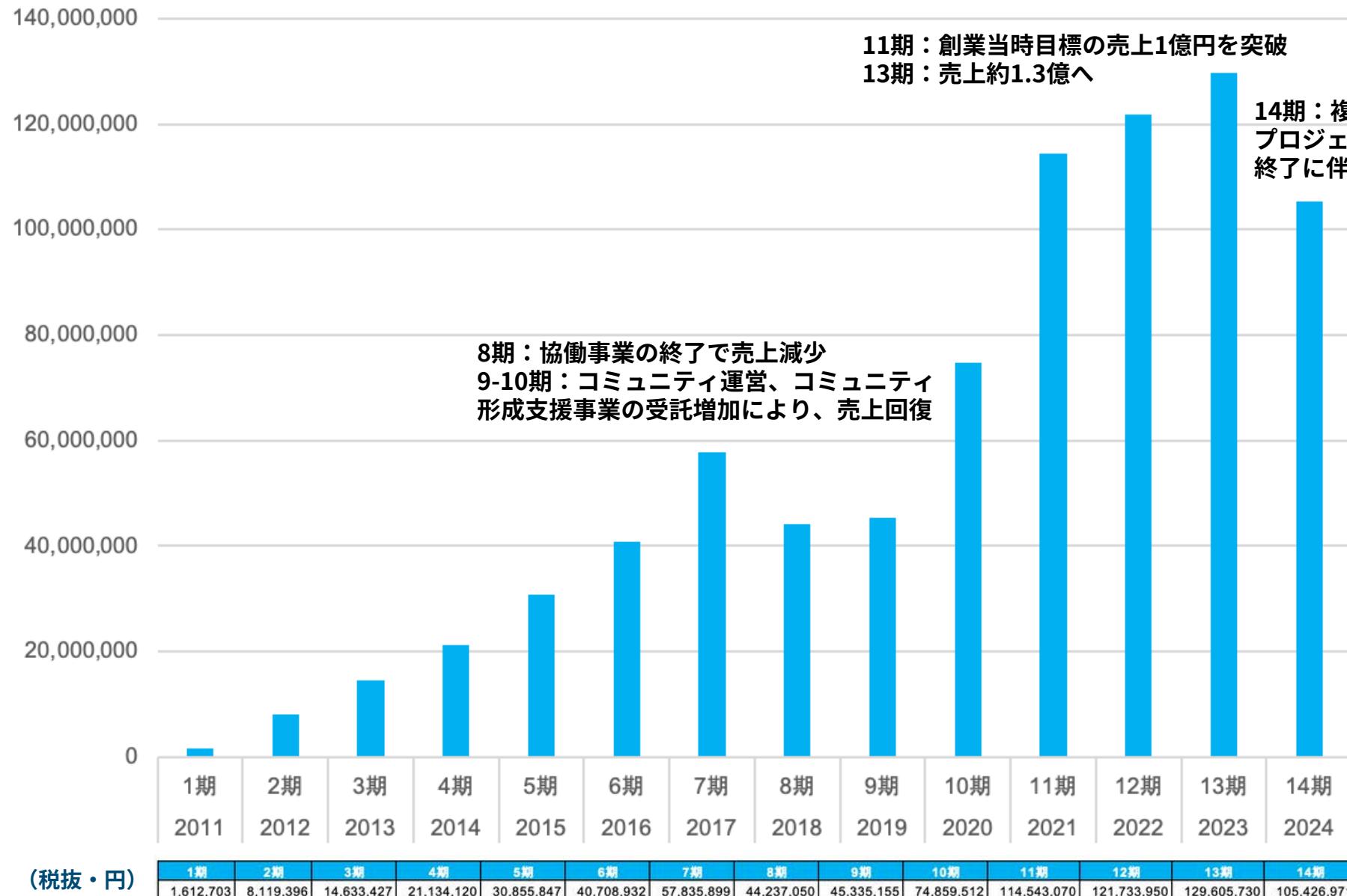
SNSリンク集

## 14期部門別売上（税込）



Polarisの売上高の内訳（14期）。カッコ内の数値は全体売上高に占める割合

## 年度ごと売上総合計比較（税抜）

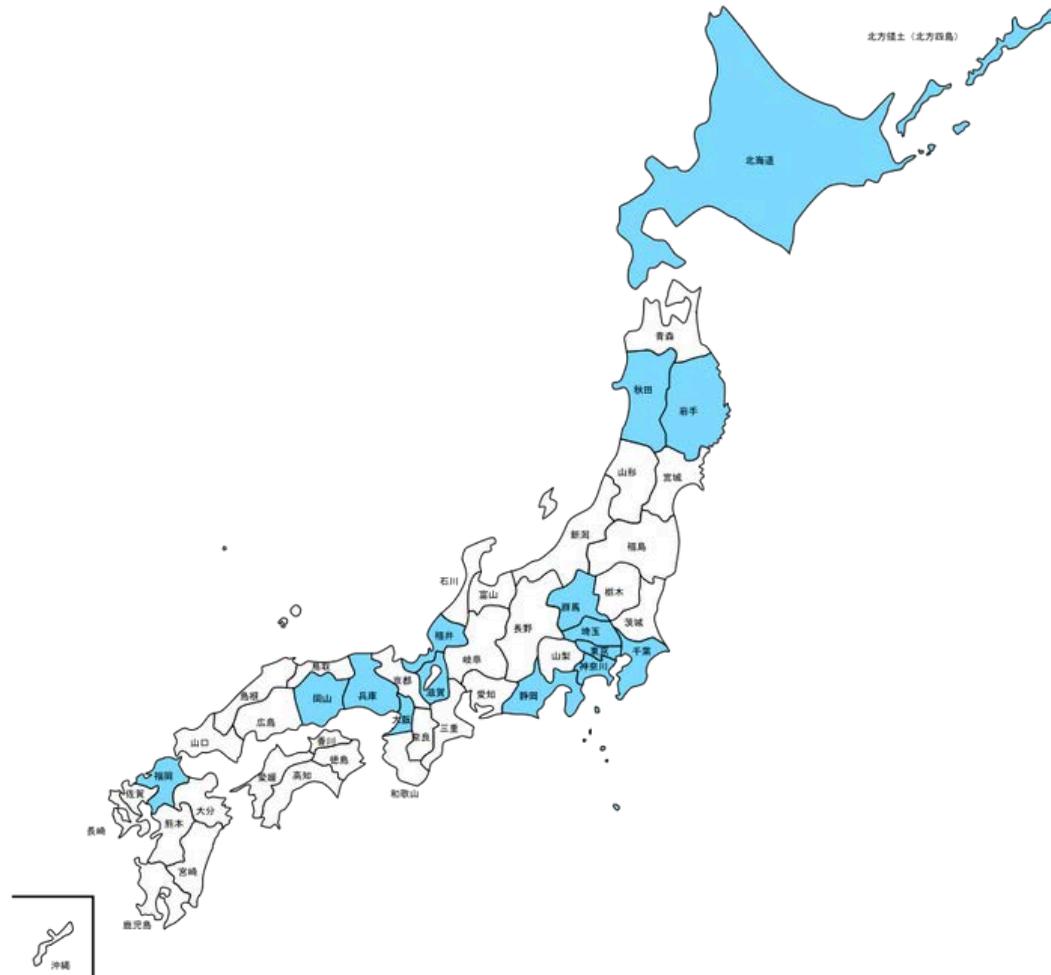


Loco-worker契約者数  
(業務委託契約者数)

**133** 名 (2025年7月末)

内訳

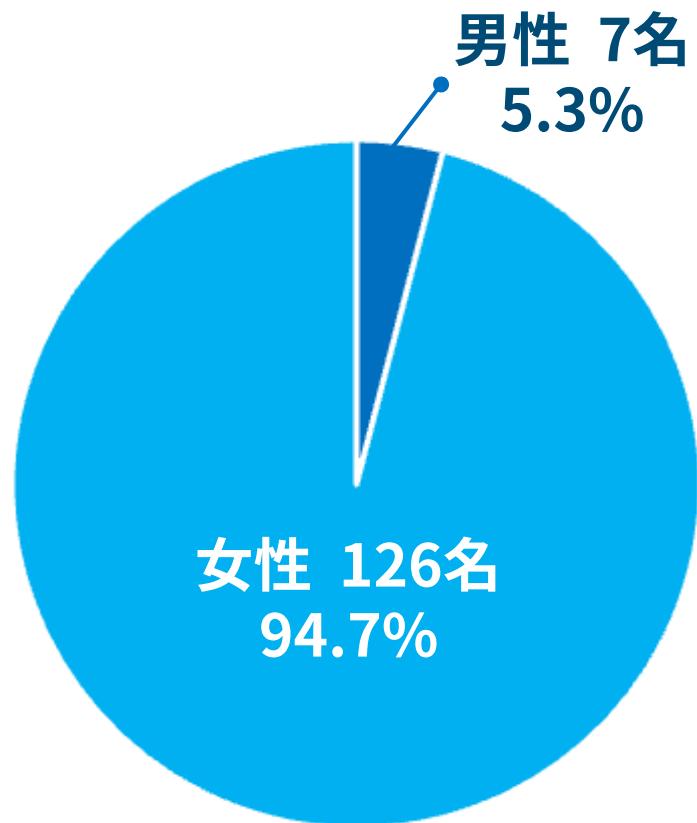
都道府県	人数
東京都	83
神奈川県	18
千葉県	9
埼玉県	5
福岡県	2
大阪府	2
兵庫県	2
群馬県	2
北海道	2
静岡県	2
滋賀県	1
岩手県	1
岡山県	1
秋田県	1
福井県	1
AUSTRALIA	1
総計	133



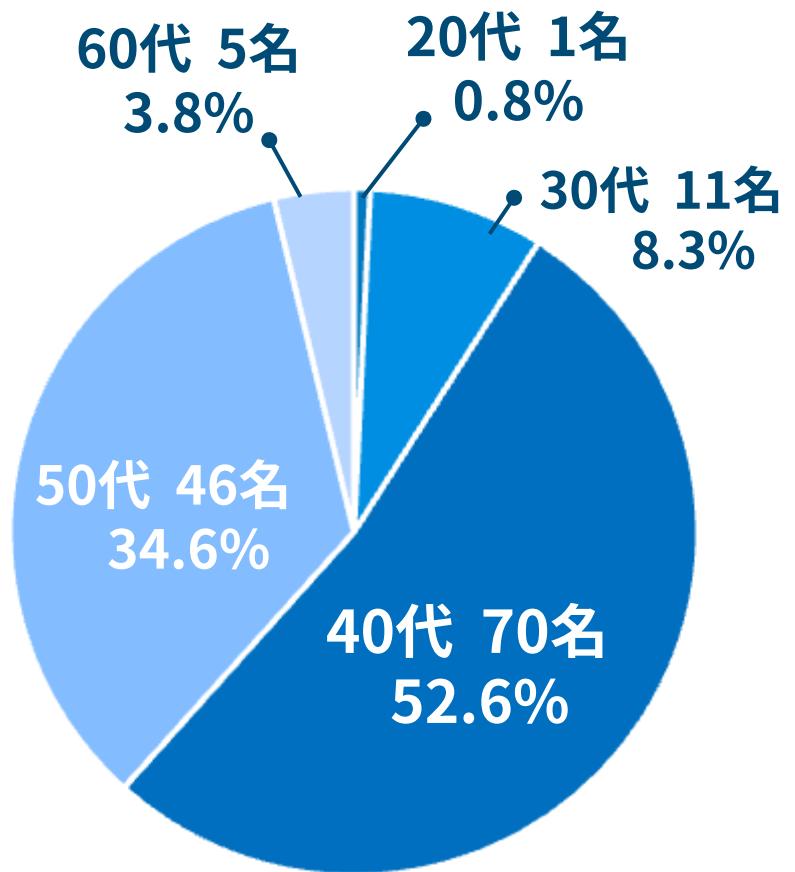
Loco-worker契約者数  
(業務委託契約者数)

**133** 名 (2025年7月末)

### 男女比



### 年齢



# 沿革

Our Mission

14期の主な  
トピック

数字で見る  
Polaris

沿革

SNSリンク集

## 沿革

- 2025年8月 「CoHana」サービス終了、サービス内容を一部変更し「事業伴走サービス」としてスタート。
- 2024年8月 大槻昌美・山本弥和の共同代表制へ移行
- 2024年4月 フリーペーパー『くらすとはたらく』創刊
- 2024年2月 複合シェアオフィス「12 KANDA」運営スタート
- 2024年1月 福岡県ワーケーション創出プロジェクト審査員特別賞受賞
- 2023年12月 「Brillia City 石神井公園 ATLAS」に参加型コミュニティスペース「アンドエス」をオープン
- 2022年10月 價値交換型ワーケーション『持ち寄る・繋がる・混ざりあう』いいづなワーケーションプロジェクト開始
- 2022年1月 コミュニティスペース「Shakuji-ii BASE (シャクジイベース)」運営スタート
- 2021年9月 コミュニティスペース「KeiyoGAS Community Terrace (てらす)」運営スタート
- 2021年7月 学び事業として「自由七科」をスタート。
- 2021年3月 co-ba CHOFUつながりの根を張り巡らせる「ワーク+コミュニケーション」空間としてリニューアルオープン
- 2021年1月 世田谷区高齢者就業マッチングアプリケーション GBER を活用した就業推進実証実の運営業務を受託
- 2020年1月 東京都女性活躍推進大賞 地域部門大賞受賞
- 2019年11月 シェアオフィス「MID POINT」運営スタート
- 2019年10月 東京建物株式会社との協働プロジェクト「Loco-cafe 0001」2019年度グッドデザイン・ベスト100 選出
- 2019年4月 地域密着型ワークシェア事業『藤里版しごとづくり・働き方推進プロジェクト』スタート (秋田県藤里町)
- 2018年6月1日 林建設(株)より「co-ba CHOFU」事業移管、Polarisがオーナー企業となる
- 2017年3月 「マチアイ」グリーン・オーシャン大賞2017銀賞受賞 (リクルートコミュニケーションズが表彰企業)
- 2016年11月1日 林建設(株)からの委託事業として、「co-ba CHOFU」運営業務開始
- 2016年10月1日 代表取締役交代、フォロワーシップ経営へ移行 (市川望美から大槻昌美へ)
- 2016年9月29日 (株)リクルートコミュニケーションズと共同開発した地域情報提供サービス「マチアイ」グッドデザイン賞受賞
- 2015年9月 東京都インキュベーションHUB推進事業受託 (創業支援センターTAMA) (事業名「おうちから起業」)
- 2015年3月 地域女性による不動産販売時の情報提供サービス「くらしのくうき」開始
- 2014年10月 西武信用金庫ソーシャルビジネス成長応援融資「CHANGE」で採択
- 2014年8~12月 文京区ソーシャル・イノベーションプラットフォーム事業で採択され、「ブンキヨー庶務部」立ち上げ
- 2013年9月 林建設(株)との共同事業として、賃貸マンションの空き部屋を活用した Loco-working Space“cococi”@国領立ち上げ (2018年5月クローズ)
- 2013年3月 東京都インキュベーションHUB推進事業受託 (創業支援センターTAMA) (事業名「自分らしいはたらき方をデザインするための起業塾」)
- 2013年1月 “暮らす”と“はたらく”が愛着のある場所で繋がるはたらき方を広げるために、ロコワーキング協議会立ち上げ (2015年3月15日NPO法人化)
- 2012年10月 暮らしを価値に変換する「ロコワーキング事業」開始
- 2012年8月20日 「セタガヤ庶務部」本格始動、説明会スタート
- 2012年2月27日 非営利型株式会社Polaris設立
- 2011年8月20日 地域における多様なはたらきかたの拠点として、“cococi”立ち上げ (東京都調布市仙川町)
- 2010年12月 内閣府地域社会雇用創造事業ビジネスプランコンペで支援案件として採択

# SNSリンク集

最後までお読みくださりありがとうございます。  
Polarisが発信している各種URLを紹介します。これからも日々情報を  
キャッチアップしたいと思ってくださった場合にご活用いただければ幸いです。

## ■Polaris事業レポート（メルマガ）

Polarisが現在取り組んでいる事業や、未来に向けた取り組み、最新のイベント情報などをみなさまへお届けします。様々な角度からPolarisのことをお伝えしていきます。ご興味がありましたら、ぜひメールマガジンにご登録ください。

- ・配信頻度 月1回配信（月末）
- ・新規登録フォーム [http://bit.ly/Polaris\\_MLentry](http://bit.ly/Polaris_MLentry)



事業レポート（メルマガ）  
新規登録フォーム



■Polaris Facebookアカウント  
<https://www.facebook.com/polaris.npc/>



■Polaris Xアカウント  
[https://x.com/polaris\\_pr](https://x.com/polaris_pr)



■Polaris Instagramアカウント  
<https://www.instagram.com/polaris.npc/>



■Polaris LINEアカウント  
<https://lin.ee/vG2dg0y>



■Polaris note  
[https://note.com/polaris\\_npc0820](https://note.com/polaris_npc0820)



## アニュアルレポート2025

発行日：2025年12月22日

発行元：非営利型株式会社Polaris

<https://polaris-npc.com>

